

# 居場所「ここ」にあるよ

## 元教員開設フリースクール

二十六人に一人は不登校。石川県内の中学校の現状で、その数は年々増えている。学校生活から離れた彼らにとつて学びの場や居場所となる民間の施設がフリースクールだ。中学生の女の子はほつりと言った。「ここは気持ち落ち着く。いてもいいよって言ってくれるから」(辻潤智)

### 第5部 子ども

# 守る

北陸中日新聞・石川テレビ放送  
共同企画



フリースクールの「IRORI」。勉強も遊びも自由に過ごせる空間で、スタッフが生徒の勉強を見守っている＝金沢市山の町で(久米洋一撮影)

午前10時。登校した中学生三年の男子は学習机に座り、参考書を開いた。耳にはイヤホン。スマートフォンから音楽を聴いてのながら勉強だ。「この方が集中できるんですよ」

「ここは何時に来て帰るか、何をするかは自由。部屋の奥では女の子二人がソファに寝転び、スマホを手に「これ、やばいよ」。IRORIのホームページに自分たちの活動の写真が掲載されたのを見て、照れながらも満足そうだった。

施設は、ちよつと古い一階建ての民家を利用して

治代表を語る。

### きょうの紙面

#### 炭火で焼いて ぷりっぷり堪能

「雪中ジャンボかきまつり」が穴水町で始まり、特産の能登かきが販売された＝25面



田井勇輝撮影

- 10 「申刺しのUFO」?
- 12 180年前の引き手復元
- 23 紀平フィギュア連覇
- 24 での舞 定演幕開け
- 25 寄り添う 2ヵ月考え

- 生活 家族のこと話そう 20
- 社説・発言 5
- 囲碁・将棋 6
- 読書 6、7
- 歌壇・俳壇 19
- お梅やみ 8
- 小説「本心」20
- 別刷り サンデー版

### 《日々ひと言》

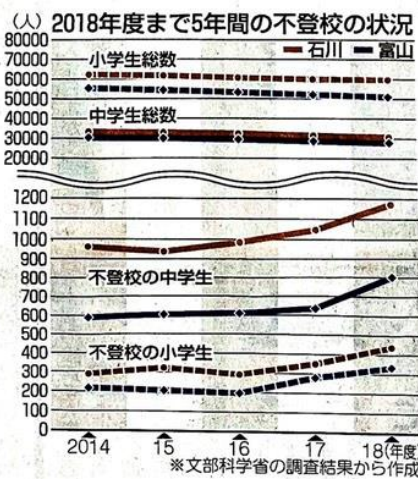
結果がどうかより、子どもたちが笑顔でプレーしている姿が見たい

3年ぶりに七尾市学童野球連盟の大会に通年で出場する「能登島クラブ」の中川弘樹監督＝16面

2020.02.09

### テレビラジオ4ページ別冊

HOPEFUL  
H  
希望に挑むミドル記者も  
大人のライブ空間  
9面



不登校とフリースクール 石川県内の小中学校は児童生徒数が年々減る一方、不登校(年に30日以上欠席)の子は増加。2018年度で小学生が439人、中学生が1172人になる。中学では26人に1人の計算になる。5年前の14年度は34人に1人だった。文部科学省の調査で不登校の理由としてはいじめや友人、教職員との関係、部活動不応答などが多い。フリースクールの運営に公的補助などは少ない。常時活動する施設は県内に少なくとも四つある。

元小学校教諭。学校に来られない子たちに何もできない自身が悔しくて教員をやめ、三年前にIRORIを開設した。月謝はもろっというが、自前の運営は決して楽ではない。 昼すぎ、昨春まで通った十六歳の少年が顔を出した。バイトをして買ったというギターを弾いた。「ここに通ったおかげで人見知りしなくなつて友達もいっばいできて。ここで勉強も教えてもらい、高校で遅れずについていけます」

「ここに来た子」を「出席」扱いにできる」と通知を出した。校長の判

### 石川テレビであす特集

北陸中日新聞は石川テレビ放送と「守る」という言葉をもとに取材し、共同報道企画「守る」を隔週で、連載しています。石川テレビの特集は10日午後6時20分以降の「Live News it!」で放送します。＝インタビュー①面

### 学ぶ 1415面

あす朝刊休みます  
きょう9日(日)は新聞製作を休み、10日(月)の朝刊は休刊させていただきます。ご了承ください。  
北陸中日新聞